

Sustainability Report 2024

株式会社ロイヤルホテル

Our Purpose

人を、地域を、日本を、世界を あたたかい心で満たしていこう。

人や地域や国の魅力と文化を発見し、理解し、思い出を持ち帰る。

人と人との交流は、それぞれの心にあたたかい思い出を残し、

それぞれの人生を豊かにし、やがて、世界を平和にしてくれる。私たちはそう信じています。

この地球の上で、人と人、地域と地域、国と国の交流の起点となり、

そこからゆっくり波紋が広がるように、心に灯ったあたたかさで世界を満たしていきたい。

お客さま、サプライヤーの皆さま、投資家の皆さま、地域の皆さま、全てのステークホルダーの皆さまと一緒に、

私たちはこの志を実現していきたい。その呼びかけがこのパーパス・ステートメントです。

紡いできたあたたかい思い出、この志を共にする皆さまとの絆、そして、家族に寄り添うようなあたたかい心くばりこそが、

これまでもこれからも変わらない、未来に向けた私たちの誇りの源です。



トップメッセージ

創業以来受け継いできた「あたたかいおもてなし」の精神を礎に 持続可能な社会、あたたかい心で満ちた世界を実現する

2025年1月に株式会社ロイヤルホテルは創業90周年を迎えました。
私たちは1935年の創業時から、ホテルという事業を通じて社会に貢献する、という使命を胸に抱き続けてきました。
地域から、日本から、世界中からお越しになったお客様へ、心地よい空間・美味しい料理・あたたかいおもてなしをお届けする。それにより、人と人とのかけがえのない交流を支え、あたたかい心で満たしていく。ホテルというホスピタリティ事業を通じて、私たちが受け継いできた精神は、人、地域、世界を尊重するという、サステナビリティを実現するために必要な姿勢そのものでもあります。

社会は目まぐるしく変わり、自然環境や人間社会における課題、私たちが果たすべき責任も大きく変化しています。これらの課題解決、事業活動においても、受け継いできた精神を体現する人材こそが、最も重要な価値の源泉です。人材がエンジンとなり、その精神を企業活動・事業活動で表現することが、課題の解決につながると考えています。

皆さまと培ってきた絆と、創業から受け継いできた精神を礎に 100周年、さらにその先の未来に向けて、持続可能な社会、あたたかい心で満ちた世界の実現を目指していきます。

代表取締役社長 植田 文一

サステナビリティ戦略

全てのステークホルダーとのエンゲージメントを強化し、将来に亘る企業活動継続の地盤をつくる

事業活動を通じた環境保全への取り組み

地球・人・社会の調和と共生を尊重し、地球環境の保全・向上に努めると共に、お客様へのよりよい価値提供を追求します。

DE&Iを軸とした働きやすい・働きがいのある環境づくり

私たちの価値の源泉は「人材」にほかなりません。多様な働き方の推進、健康経営の実践、学びの機会提供により優れた人材の育成に努めます。

地域社会と積極的な関わりによる地域の魅力発信

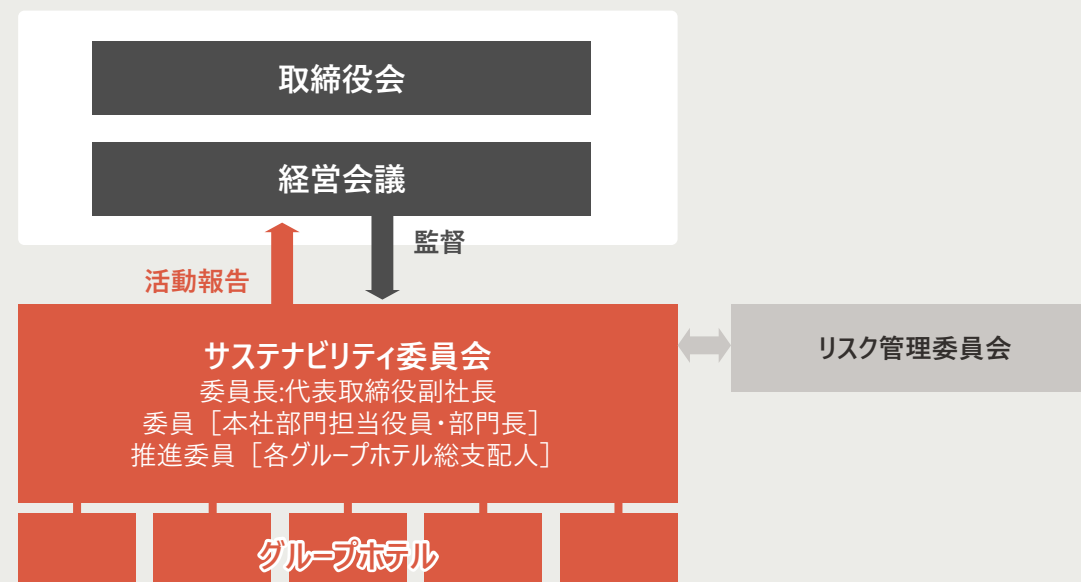
地域のみなさまとの関わりの中で育ってきた当社。地域の価値をより高められる存在であること、地域への貢献を使命とし、ホテルという媒体を通してお客様に地域の魅力を発信していきます。

「安全・安心」を守る組織づくりの推進

「安全・安心」は何よりも重要な価値です。企業としてのガバナンス強化やコンプライアンスへの取り組み、食の安全やバリアフリーの推進など、継続して実効性を高めるための組織・体制を整えています。

サステナビリティ推進体制

当社ではサステナビリティに関する事項（コンプライアンス及びリスク管理に関する事項を除く）を審議・議論し、方針を決定する機関として「サステナビリティ委員会」を設置、サステナビリティに関する取り組みを年2回の委員会で報告しています。その内容は経営会議・取締役会へも報告され、その活動を監督しています。





環境への取組み

事業活動を通じた環境保全への取り組みを実施し、お客様へよりよい価値を提供します。

プラスチック使用量削減

客室アメニティは再生プラスチックへ素材転換、水平リサイクルを実施し、排出量の削減と資源の再利用に努めています。

また、一部ホテルではアメニティをフロントでのピックアップ形式に変更し、提供の合理化に努めています。

温室効果ガス排出量削減

温室効果ガスの排出量を測定・Scope 1、2について公開しています。

バックヤードにおいて、オフィスカジュアルの導入による空調使用の軽減や、深夜帯エレベータ制限などにより節電に努めています。

電照のLED化や省エネ機器への切り替えを進めています。

エコ清掃

リネン類の洗浄には多くの水資源を使用します。連泊のお客様に簡易清掃のオプションをご用意することで、環境配慮へのご協力をお願いします。

省水型トイレへの切り替えを進めています。

写真左：水平リサイクルによる再生プラスチックを使用したアメニティ
写真右下：清掃リクエスト用のドアサイン

食品ロス対策

調理工程で発生する野菜の端材をスープやソースに加工するなど、食材を無駄なく使いきる工夫をしています。

やむなく廃棄する食材の堆肥化、廃食油を持続可能な航空燃料（SAF）の原料提供するなど、食の循環やリサイクルに取り組んでいます。

3010運動（宴席開始30分と終了前10分は食事に集中して食べ残しをなくそうという呼びかけ）に賛同し、ポスター・パンフレットでの啓蒙活動を実施しています。



人材への取組み

DE&Iを軸とした働きやすい・働きがいのある環境づくりを通じて、世界にあたたかい心を満たす人材を育てます

多様性の尊重

外国人スタッフを対象に、日本語（敬語）研修を実施しています。また、懇親会を実施して交流・相互理解を深めています。

基礎的な手話を身につけ、多様なお客様をおもてなしできるよう「手話研修」を開始しました。

学習機会支援

フランスなど海外の有名レストランへの長期調理研修を実施しています。1970年代より継続し、これまでのべ約130人を派遣し技術の研鑽に努めています。

英語は、従業員が誰でも参加できる外国人専任講師によるレッスンのほか、段階別の研修プログラムや全従業員対象の英語試験を実施しています。他言語の研修も実施し、語学力向上に努めています。

サービスに関する公的資格の取得にあたっては、実習や模擬試験の実施、資格取得時の費用負担などのサポートをしています。

eラーニングを活用したリスキングを支援しています。

女性活躍の推進

女性が生き活きと活躍できる環境を考えるプロジェクトチームをつくり、女性の視点から経営へ提言を行っています。

女性管理職対象のメンター制度など、女性のキャリアアップを後押しする制度を整えています。

女性管理職比率（※）を2025年に20％、2030年に30％とする目標を設定しています。

※当社規定に基づく管理監督職のうち女性の割合

育児・介護との両立支援

育児休業取得対象者への積極的な取得の呼びかけや、特に男性の育児休業取得推進へ向けて、上長への理解を促す活動や育児休暇取得経験者による懇親会を実施しています。

育児中の従業員への短時間勤務制度などは、法定以上の基準で制定し、仕事との両立支援の体制を整えています。

写真：イメージ



健康経営への取り組み

従業員とその家族の心身の健康がおもてなしの礎です
トップによる「健康経営宣言」のもと、取り組みを推進しています

健康増進の取り組み

定期健康診断の100%受診、二次健診受診の呼びかけ、高リスク者への特定保健指導を実施しています。

乳がんや子宮頸がん検診等の女性特有疾病の健診を実施するほか、乳がんセルフチェッカーを配布し意識向上に努めています。

禁煙プログラム提供などの取り組みを進めながら、2022年に勤務時間禁煙を実施。喫煙率の低減につながりました。

健康の啓発活動

健康に関する情報発信を行い、従業員の意識向上に努めています

外部講師による健康啓発研修を定期的 to 実施しています。

相談窓口・制度

健康管理室を設置、産業医との連携により疾病の相談などに対応しています。

がん相談窓口を設置し、就業との両立や復帰の支援、各種制度の案内を実施しています。

写真：イメージ

働きやすい環境の整備

快適な労働環境のため、従業員食堂や休憩室、仮眠室のリニューアルを実施しました。

適正な労働時間を守るため、業務効率化に継続的に取り組んでいるほか、労働時間に関する研修を実施しています。

安全な労働環境のため、施設・手順の見直しや注意喚起、対策事例の情報共有を実施しています

メンタルヘルス対策

ストレスチェックを年1回実施しています。

外部カウンセラーによる相談窓口を設置しています。

メンタルヘルスに関する研修を実施しています。

健康経営優良法人 認定

従業員とその家族の心身の健康が
当社のおもてなしの礎であると考えています。
代表取締役社長による「健康経営宣言」のもと
従業員の健康を推進する取り組みを実施。
「健康経営優良法人」認定を5年連続で受けました。





安全・安心への取り組み

「安全・安心」は何よりも重要な価値です
継続してガバナンスの実効性を高めるための体制を整えています

ガバナンス

取締役の多様性を確保し、適正な機能発揮を図っています。

コンプライアンス全社研修の実施、内部通報窓口の設置によりコンプライアンス遵守徹底に努めています。

各事業に影響を与えるリスクの発見・特定と経営に与えるインパクトの把握を目的として「リスク管理委員会」を設置し、リスクの回避と軽減に努めています。

防災

定期的に火災や地震を想定した避難訓練や救急救命講習を実施しています。

帰宅困難者受け入れを想定した備蓄を行っています。備蓄品は入れ替え時に自治体などに寄付しています。

食の安全

HACCPに基いた衛生管理を実践しています。

メニュー表記の管理・検証、従業員への定期的な研修を行うなど、食の安全・安心を守るための体制を整備しています。

写真左：リーガロイヤルホテル大阪 レストラン「THE RAY」で提供しているヴィーガンコースの一品
写真右下：客室内設置のサニタリーバッグ

バリアフリー

施設のバリアフリー化を推進するとともに、館内のバリアフリー情報をウェブサイトで発信しています。

疾病などで尿漏れパッドをご利用のお客様が廃棄に困らないよう、男性用お手洗い各個室にもサニタリーボックスを設置するほか、客室内のサニタリーバッグの仕様の変更を進めています。

食の多様性

朝食ビュッフェにおいて食材ピクトグラムを導入し、様々な文化圏の方に安心して召しあがっていただける取り組みを推進しています。

様々な文化圏の方にホテルの食体験をお楽しみいただけるよう、ヴィーガン対応のフルコースメニューやアラカルトの販売を開始しました。





社会貢献への取り組み

地域のみなさまと培ってきた絆を
より強く、未来に向かって繋げていきます

地域とのつながり

地元のお祭りなど地域の催事への参加や、ホテル周辺地域の清掃活動を実施しています。

大規模災害時の帰宅困難者受け入れに関する協定を各自治体と締結しています。

寄付活動

宴会プラン売上の一部を「緑の募金」に寄付し、環境保全活動を支援しています。

分別回収したペットボトルキャップの売却益で開発途上国にポリオワクチンを届ける活動に協力しています。従業員スペースでの回収のほか、一部ホテルではロビーでの分別回収活動を実施しています。

創業90周年事業の一環として従業員を対象としたチャリティウォークイベントを実施し、様々な社会課題の解決に取り組むNPO団体に寄付しました。

グルメブティック メリッサ オンラインショップで販売した「天然輪島ふぐのタパス」売上の一部を能登豪雨災害支援に寄付しました。

写真左：チャリティウォーク実施の様子
写真右下：商品売上の一部を寄付した「天然輪島ふぐのタパス」

地域の魅力発信

ホテルの内装やアメニティ、料理に地域ならではのエッセンスを加えることで、ホテルを訪れたお客様へ地域の魅力をお届けします。

- 地場食材・製品の提供
- 地場工芸を使用したインテリア

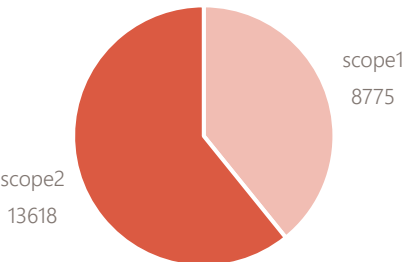
学びの機会の提供

地域団体や教育機関と協力し、中高生の方々へ向けて当社の事業や取り組みを通じたサステナビリティ学習プログラムを提供するほか、大学との協働でホテルの課題解決に向けたプレゼンテーション大会を実施しました。



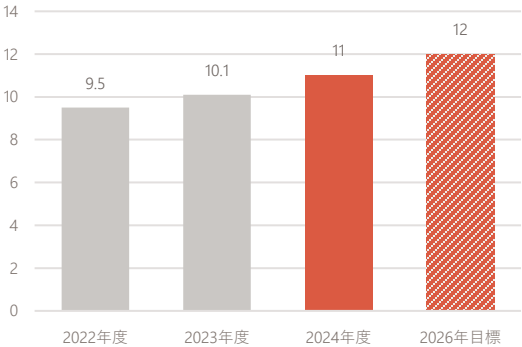
データ集

温室効果ガス排出量 [tCO2e]



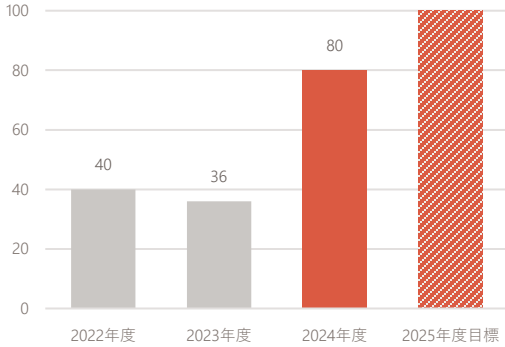
※下記の当社および連結子会社が運営する施設の合計値
株式会社ロイヤルホテル本社、リーガロイヤルホテル東京／広島／小倉、
リーガグラン京都、リーガプレイス肥後橋／京都 四条烏丸

管理職に占める女性労働者の比率 [%]



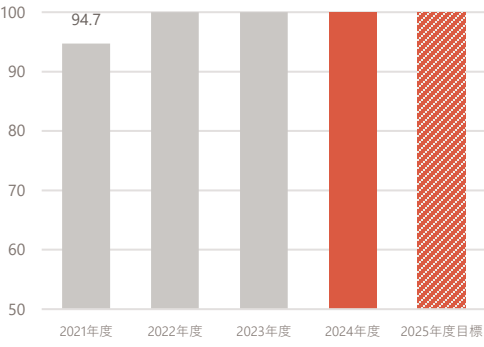
※「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき算出

男性育児休暇取得率 [%]

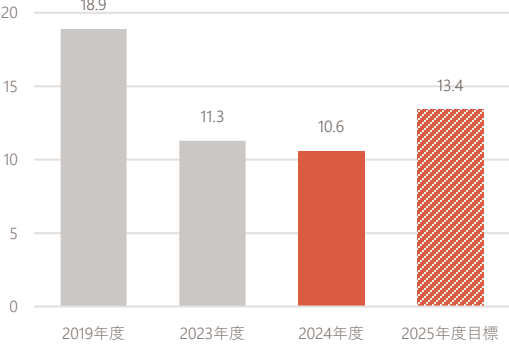


※「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」第71条の4 第1号における育児休業等の取得割合を算出

ストレスチェック受検率 [%]



特定プラスチック排出量 [t]

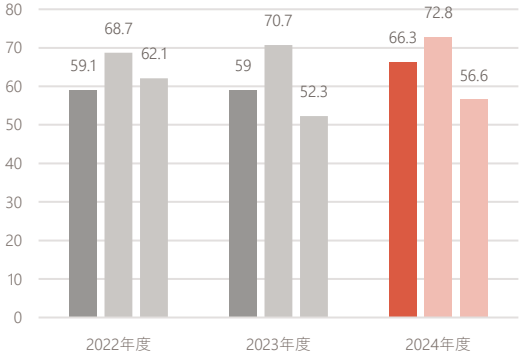


※原単位（特定プラスチック排出量総量を排出量に密接にかかわる値（宿泊人数）で除した値）

※集計対象ホテル：リーガロイヤルホテル大阪／東京／京都／広島／小倉、リーガグラン京都、リーガプレイス肥後橋／京都 四条烏丸

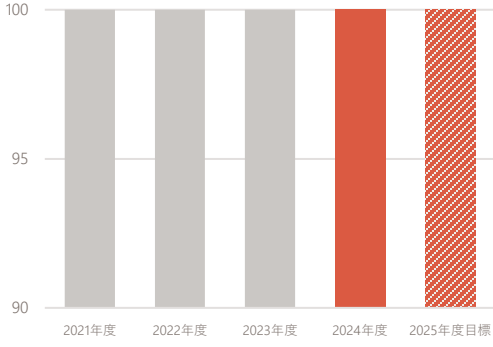
※2025年度目標値は2022年度に設定したもので、2023年度でその目標を達成していますが、目標設定年度までは継続してこれを下回る水準になるよう、プラスチック排出量削減を推進します。

労働者の男女の賃金の差異 [%]

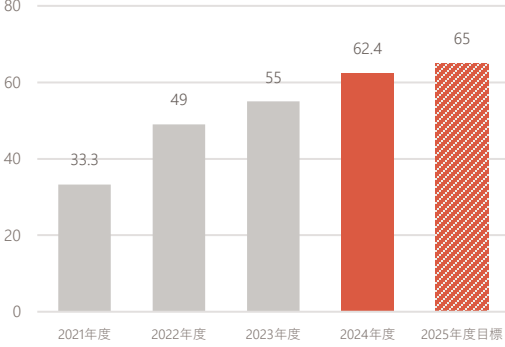


※左側バーより、全労働者、正規雇用労働者、パート・有期雇用者

健康診断受検率 [%]



年次有給休暇取得率 [%]



凡例： ■ ...2024年度実績 ▨ ...2025年度目標 ■ ...2023年度以前実績